

和歌山市立東和中学校

生徒指導だより

～君たちは未来から「今」を託されている～

No.7 2014.9.17



もう一校訪問してきました!!



前回の生徒指導だよりで伝えた中学校とは別に、もう一校訪問してきました。同じく福岡県の中学校です。前回紹介した学校と同じく、とても落ち着いた、けじめのある学校生活を送る生徒の姿が印象的でした。左の写真は、集会の様子です。きちんと整列し、良い態度で話を聞いていますね。当たり前のことを当たり前にして...それがこの学校の生徒が目指す姿だそうです。

相手を思いやり 仲間を大切にする

こちらの学校の生徒たちも、先生方とすれ違う手前で立ち止まり、大きな声で「こんにちは」と声をかけます。立ち止まってさわやかにあいさつをするのです。この学校では、様々な場面で、仲間を大切にする姿がみられました。あいさつもそのひとつなんだろうと思います。

人の話を聴くときの約束事を決めているそうです。「ボディーリスニング」

と名付けて体をつかって聴くものと「ハートリスニング」と名付けて心で聴くものです。ボディーリスニングでは、「うなづく」「向く」「書く」の3「く」、ハートリスニングでは、人の話を「じゃましない」「さえぎらない」「否定しない」の3「な



い」を、心がけています。ただ話を聴くことひとつをとっても、相手を思いやり、仲間を大切にする態度で過ごしているようです。

授業はグループで

休憩時間、授業が始まる5分ぐらい前に教室にお邪魔しました。ほぼ全員着席し、教科書、ノートを開くなど、次の授業の準備をしていました。チャイムの2分ほど前に先生が入室。チャイムが鳴ると同時に生徒の一人が「黙想!!」と声をかけました。その声でクラス全員が目を閉じ、黙って心を落ち着かせます。30秒程度の黙想が終わると礼儀正しいあいさつで授業が始まります。授業は、どの学年、クラスもグループ学習で行われ、生徒同士が教え合い、学び合っていました。ここでもやはり、相手を思いやり、仲間を大切にする態度で授業に臨んでいました。



くつはつま先をこちらに向けて

くつ箱では、すべての靴がつま先をこちらに向けて入っていました。どうしてこのような入れ方をするのかを尋ねると、そこには、くつを大切に扱う理由がありました。くつやくつ箱を見ずに「ポンっ」と放り込むのではなく、わざわざ一手間をかけ、丁寧に入れることで「意識が高まる」と言うのです。

「意識が高まる」とは、どんなこともいい加減に済ますことなく、大切に、丁寧にできる心が育つことだと思います。どんなことでも大切にする…それは、モノを大切にすることだけでなく、相手を大切にすることでもあり、自分を大切にすることなのです。



2号に渡って訪問した学校を紹介しましたが、文面だけではうまく伝えることができません。みなさんの感性で何か感じてくれるものと願います。